

公益社団法人 日本技術士会 神奈川県支部（第 42 回 CPD 行事他）実施報告書

開催日	平成 28 年 2 月 10 日（水）
開催時間	13 時 20 分～17 時
名称	再生可能エネルギーの見学・講演会
主催者	研修委員会並びに社会委員会（共催）
開催場所	ハマウイング→三菱みなとみらい技術館→三菱重工業(株)本牧工場
行事内容 (100 文字程度)	再生可能エネルギーの利用・地球温暖化対策の一環として、横浜市が進めている風力発電事業を見学し、80mφ風車の真下で説明受け、迫力を肌で感じることができた。バス移動し実物展示風車翼に触れた後、CPD講演“バイオマス発電の現況”でも活発な質疑応答により再生可能エネルギーの理解が深まった。
参加人数	会員 38 名（講師含む）横浜市職員、日本風力発電協会他 5 名（計 43 名）

概要」

風力発電ハマウイング：説明者 横浜市環境創造局 返田 誠 氏, 日本風力発電協会 上田 悦紀 氏
 バイオマス発電の現況：講師 三菱日立パワーシステムズ(株) ボイラ技術本部 横山 康(技術士) 氏

概要

- (1) ハマウイング見学の概要：横浜市神奈川区瑞穂埠頭 市有地に事業者横浜市が NEDO からの補助金と市債により 2006 年建設。市、市民並びに協賛企業の 3 者で事業し 2007 年 3 月より稼働、年間約 220 万 KWh 発電し、電力会社からの売電収入から市債の償却、メンテナンス費等に充て順調に事業化している。見学当日は快晴、風速 4～15 m/s で定格出力 1,980KW で回転していた。メーカーは Vestas 社(デンマーク) 80m φの GFRE 材質の風車翼は中国からの輸入品で、強風 25m/s になるとカットアウト制御で発電を停止する機構になっており、大きなトラブルはなし。パンフレット配布
- (2) 三菱みなとみらい技術館／環境・エネルギーゾーンで 100Mφクラスの実物輪切された翼を見学
- (3) バイオマス発電の現況：FIT 対応 木質バイオマスの発電燃料種と流動形態の変化及びボイラ型式による各種比較・特徴に加え、廃タイヤなどの産業廃棄物系まで幅広く多種多様な燃料の利用や石炭との混焼まで持続可能なエネルギー活用に取り組んでいる講演で、日本のエネルギー自給増加に向け大変参考になりました。

